Hiroshima University Schools
Mihara

研究開発だより

広島大学附属三原学校園研究推進部
平成 29 年 10 月 12 日
第３号

「希望（のぞみ）」の学習を通して，様々な人々とともに，積極的に，粘り強く課題解決に取り組む中で，社会において有為な人となるべく自己の向上をはかる子どもの育成を目指します！

「希望（のぞみ）」の授業

今回は，中間期（３・４年生）と最終期（８・９年生）の授業を紹介します。

「希望（のぞみ）」中間期部会　（3年生）「学校のためにできることを考えよう」（4年生）「ペアさんとの交流」

朝の時間にしておくと，みんなが気持ちよく一日を迎えられるかな。班で協力して活動することができたね。

グリーンロードの掃除（３年生）

四年生になってペアさんができてうれしいな。はじめての交流だけど，ちゃんと話ができるかな？仲良くなれるかな？これから頑張るぞ！

ペアさんとの交流（４年生）

３年生は，「学校のためにできること」を考え，計画を立てました。活動を重ねていくうちに，自分の考えよりも「みんなが気持ちよくすごすことができる」を優先して考え取り組むことができるようになってきました。グループやクラスで課題解決に向けて話し合う場面では，友だちの意見に賛同したり折り合いをつけたりしながら進めました。

４年生は，「かかわり方を学び，お手本になり，年長さんが安心して小学校に入学できるようにする」をめあてにして，年長児のペアさんとのかかわりを深めてきました。運動会の踊りの練習では，ペアさんによくわかるように，教え方を工夫しました。運動会後，もっと仲良くなるためにもう一度交流会をしたいと考え，計画・実施をする中で，相手の気持ちを考え理解することの大切さを実感することができました。

「希望（のぞみ）」最終期部会　（9年生）「Peace Project in Hiroshima 2017」（8年生）「夢を志に Piece&Peace 園児・小学生との交流を通して」

９年生は，６月に「Peace Project in Hiroshima」を実施しました。海外の方々を広島平和記念公園および周辺施設へと案内し，平和についての意見交流を行いました。活動を通して，平和についての自分の考えを深め，表現をすることができました。

８年生は，運動会行事の「お兄さんお姉さんと一緒」のリーダーとなり，園児さんや４年生の児童と交流をしました。その体験を生かして，次の修学旅行に向けての取組を始めました。

海外の先生方を案内する９年生

平和への想いが込められたたくさんの折り鶴です。世界中の人たちみんなが平和になることを願っています。

最初は不安でいっぱいだったけど、様々な取組をして、当日が近づくにつれてペアさんの笑顔がたくさん増えて本当に嬉しかったな。

手を繋いで入場している年中さんと８年生

「研究開発だより」（カラー版）を HP に掲載していますので，併せてご覧ください。
http://www.hiroshima-u.ac.jp/fu_mihara/kenkyu